

子育てしやすいまちづくり

宇都宮大学大学院工学研究科
地球環境デザイン学専攻

大森 宣暁

2016年1月26日(火)

新道路研究会@JICE会議室



本日の内容

- はじめに
- 子育て世帯の日常生活におけるバリアの考え方
- 子育て中の外出行動および子育てに対する意識に関する調査結果の紹介
- 子ども連れ外出に対する「心のバリアフリー」推進の取り組み
- おわりに

生活活動と交通

- 都市社会の4要素
 - 「住む」、「働く」、「憩う」、「交通」
- 人および物の空間(場所)的移動
 - 広義の交通には、情報の移動としての「通信」が含まれる。狭義の交通は通信と機能的には密接な関係をもつものの、計画、政策の対象としては別の分野として取り扱われている。
- 移動自身に価値がある場合(旅行、ドライブなど)
 - … 本源的需要
- 移動の結果に価値がある場合(通勤、買い物、物の移動)
 - … 派生的需要
- 交通を理解するためには、その根源にある活動と一体的に理解する必要がある。

「交通」は「活動」の派生需要

- 人は毎日どんな活動を行う必要があるか？
 - 必需活動：睡眠、食事、身の回りの用事、診察・療養など
(本人が行う必要あり)
 - 拘束活動：仕事、学業、家事、**育児**、食料品・日用品の買物、銀行・郵便局へ行くなどの事務的用事など
(一部はアウトソーシングが可能)
 - 加えてどんな活動をすると満足か？
 - 自由活動：趣味、娯楽、交際、休息、飲み会、ショッピング、スポーツ、テレビ、パチンコ、ゴルフ・・・など(本人が行う必要あり)
- ↓
- **交通システム**が本源的な需要である(外出)活動への参加を可能とする。
 - 土地利用(活動機会)と交通システムは密接に関係

ライフサイクルステージと 活動需要、能力の変化

ライフサイクルステージ

仕事 育児 自由時間 体力 財力

A 子供なし若者世帯 (35歳未満)

B 就学前子どもあり世帯

C 就学前 + 小学生子どもあり世帯

D 小学生子どもあり世帯

E 中学生・高校生子どもあり世帯

F 18歳以上子どもあり世帯

G 子供なし世帯 (35歳以上)

H 退職後高齢者世帯

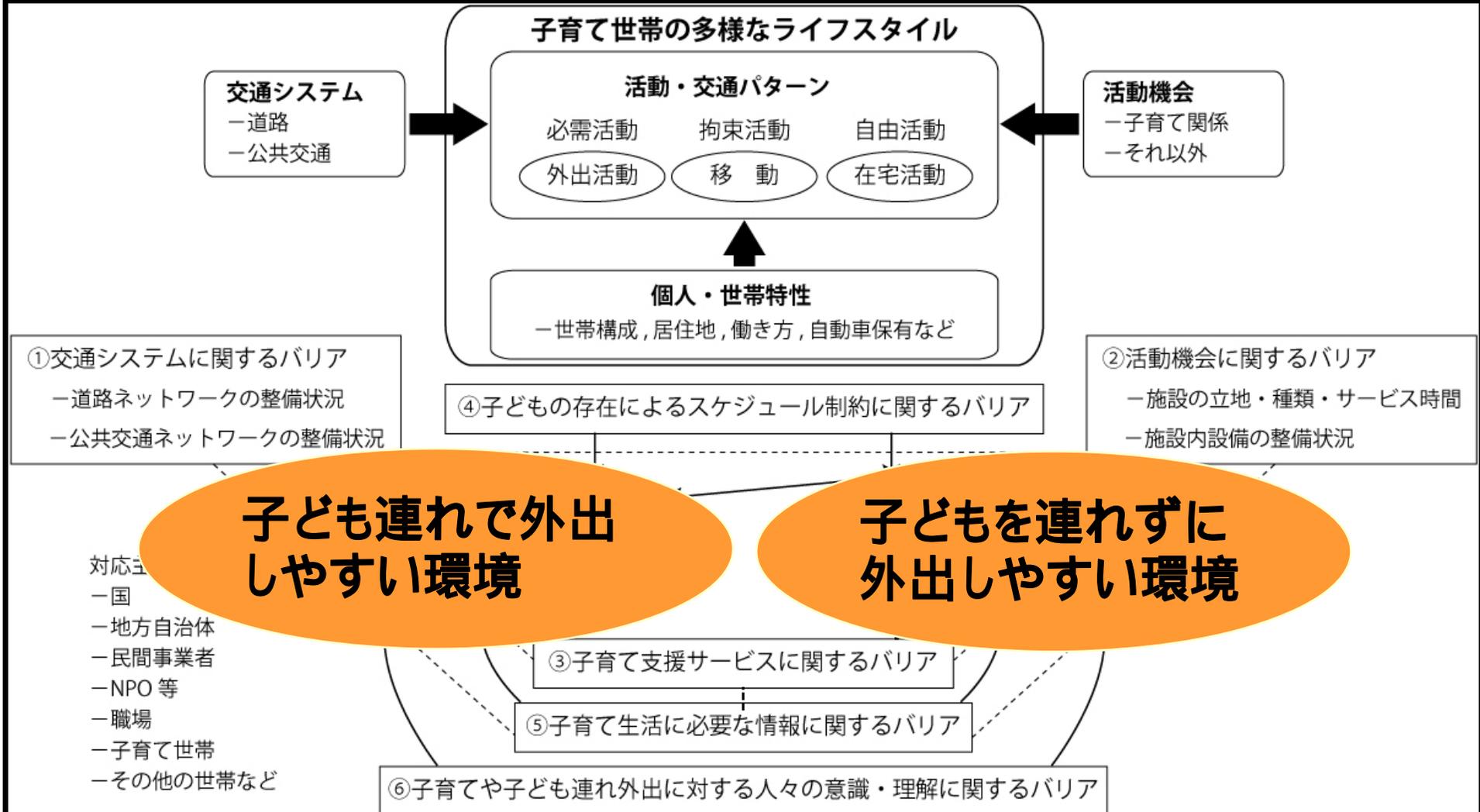


交通の発生

- 目的地で活動を行う**効用** (+)
- 移動の**負の効用** (-)
 - 時間、費用、身体的負担、心理的負担…
- 移動の**正の効用** (+)
 - 気分転換、一人になれる、景色を眺める、運動、移動中の活動…
- (自宅を含めて)以上の合計が最も大きい目的地で活動を行う(移動が発生する)。
 - 子供を**ベビーカー**に乗せて**徒歩**で**近所のコンビニ**に買物に行く。
 - 子供を**自転車**に乗せて**少し離れたスーパー**に買物に行く。
 - 子供を**ベビーカー**に乗せて**バス**や**鉄道**で**都心の商業施設**に買物に行く。
 - 子供を**チャイルドシート**に乗せて**車**で**郊外大型ショッピングセンター**に買物に行く。
 - 子供をゆりかごに乗せて**自宅**で**オンラインショッピング**をする。
 - (祖父母や**ベビシッター**に子供を預けて一人で買い物に行く。)

効用: 経済学の用語、
望ましさを表す

子育て世帯のバリアの整理



出典:大森(2013)子育て世帯の多様なライフスタイルを実現する都市と交通のあり方, 都市計画, Vol.62, No.5, pp.28-32.

子育て中の親の日常生活における 移動と活動の分類

| | 移動 | 活動 |
|-------|---|---|
| 子どもなし | A子どもなしの移動 (通勤、業務、私用など) | B子どもなしの活動 (仕事、食事、買い物、 趣味・娯楽、休息など) |
| 子ども連れ | C子ども連れの移動 (通勤、私用、保育所・ 習い事・病院などへの 子どもの送迎など) | D子ども連れの活動 (食事、買い物、子ども の遊びなど) |

AとCあるいはBとDを選択できること、Cの移動およびDの活動の実行の有無、時刻、場所、交通手段等を選択できることが重要

出典：大森(2013)子育て世帯の多様なライフスタイルを実現する都市と交通のあり方, 都市計画, Vol.62, No.5, pp.28-32.

子ども連れで外出しやすい環境

- 道路、公共交通(駅・バス停、鉄道・バス車両等)等の**交通システム**、商業施設や公共施設等の**活動機会**といった公共空間で、子ども連れをどのように考えるか
 - 公共交通利用時に、ベビーカー、車いす、シニアカー、歩行器、自転車、パーソナル・モビリティ等の移動補助具を、どこまで受け入れるか？
 - 子ども連れ共用か、専用か？

子どもを連れずに外出しやすい環境

- 子どもを預けやすい環境整備
 - 子育てしやすい働き方
 - ワーク・ライフ・バランス
 - 柔軟な勤務形態(裁量労働制、テレワークなど)
 - 多様な保育サービス
 - 居住地、職場、保育所の位置関係
 - 親世帯との同居、近居
 - 近隣のソーシャルネットワーク
 - 非常時・緊急時の対応

交通システムに関するバリア

道路交通環境

- ・子ども連れで安全・安心に通行できる歩行環境整備(十分な幅員の歩道、自動車・自転車走行空間との分離、段差解消、ベビーカーでも利用しやすい道路環境、混雑緩和など)
- ・子ども連れで安全・安心に移動できる自転車利用環境整備(子ども乗せ自転車、自転車道、自転車レーン、子ども乗せ自転車用駐輪場、子どもが運転しやすい自転車環境など)
- ・子ども連れで安全・安心に移動できる自動車利用環境整備(安全で乗りやすいチャイルドシート、子供の状況確認・世話がしやすい自動車、子ども連れで安全に乗降できる駐車場など)
- ・子ども連れ道路利用に関する情報提供
- ・子ども連れで移動しやすい道路交通環境整備に対する補助金

公共交通環境

- ・子ども連れで利用しやすい鉄道駅・バス停等整備(エレベーター、エスカレーター、段差解消、広幅員改札、駅員・乗車員等への接遇教育、待ちやすいバス停、混雑緩和など)
- ・子ども連れで利用しやすい鉄道・バス車両等整備(安全で乗降しやすい車両、ベビーカー優先スペース、混雑緩和など)
- ・鉄道駅等への子ども連れで利用しやすいトイレや授乳室等の整備(ベビーカーごと入れる便房、男性用トイレへの子ども用施設、男性も利用可能な授乳室など)
- ・子ども連れまたは子どもだけでも利用しやすいタクシー導入
- ・子ども連れで利用しやすいサービス時間の設定
- ・子ども連れの経済的負担を軽減する運賃体系
- ・子ども連れ(ベビーカー利用)外出者に対する公共交通利用方法やルール・マナー、トイレや授乳室等の情報提供
- ・子ども連れで利用しやすい公共交通整備に対する補助金

活動機会に関するバリア

- ・居住地周辺への子育て関連施設の立地誘導、集約型都市構造・施設配置のまちづくり(コンパクトシティなど)
- ・子ども連れでアクセス/移動しやすい施設内設備の整備(入口段差解消、施設内上下移動抵抗緩和など)
- ・子ども連れで利用しやすい施設内設備の整備(飲食店等の子供用いす、ベビーカースペース、ベビーカー置き場、ベビーカーやカート貸出、安全な空間設計、子ども連れ専用・優先施設提供など)
- ・公共施設や商業施設等への子ども連れで利用しやすいトイレ、授乳室等の整備(ベビーカーごと入れる便房、男性用トイレへの子ども用施設、男性も利用可能な授乳室など)
- ・子ども連れで利用しやすいサービス時間の設定
- ・子ども連れ外出者に対する施設利用方法やルール・マナー、トイレや授乳室等の情報提供
- ・子ども連れで利用しやすい施設や設備整備に対する補助金

子育て支援サービスに関するバリア

- ・保育施設増設、保育定員増加による待機児童解消
- ・多様な保育サービスの提供(一時保育、休日保育、学童保育、ベビーシッター、ファミリーサポート、保育ママ等)
- ・自宅付近、通勤経路で利用可能な保育サービス(鉄道駅・駅付近への子育て支援施設の設置、鉄道駅等で子どもを預かり保育所へ送迎するサービス⁵⁾など)
- ・事業所保育所の設置や有効活用(他事業所勤務者や近隣住民の利用、複数事業所による共同設置など)
- ・多様な送迎サービスの提供(送迎バス、子育てタクシーなど)
- ・子育て支援サービス利用時の経済的支援
- ・子育て支援サービスの利用に関するわかりやすい情報提供
- ・子育て支援サービス整備への補助金

子どもの存在によるスケジュール制約に関するバリア

- ・子どもと一緒にいなければならない状況、家事や育児の負担を軽減する、居住環境・家電製品等の技術開発
- ・子ども連れで外出しやすい外出用具(おんぶ・だっこひも、ベビーカー等)の技術開発
- ・親との同居・近居を選択可能な環境整備
- ・家事代行サービスの提供
- ・コミュニティ形成(友人・近隣住民等へ子どもを預けやすい、外出に同伴してもらいやすいなど)
- ・柔軟な勤務形態の導入(産前・産後・育児中の休暇取得制度、短時間勤務、フレックスタイム、裁量労働制など)、父親の育児参加に対する職場の理解の向上など)
- ・緊急時の保育サービス(一時保育、病児・病後児保育など)や送迎代行サービス(習い事の送迎バス、子育てタクシーなど)の提供
- ・ICTによる移動代替(ネットショッピング、オンライン行政サービスなど)
- ・児童手当等の経済的支援

子育て生活に必要な情報に関するバリア

- ・交通システム、活動機会、子育て支援サービスに関する、多様な情報が総合的に入手可能な情報提供サービス、コミュニケーションサービスの提供(子育てマップ, 子育てポータルサイトなど)
- ・子育て中の親同士の交流の場や機会の提供
- ・情報入手手段の購入・利用に対する経済的支援
- ・子育て生活に必要な情報提供に対する補助金

子育てや子ども連れ外出に対する人々の意識・理解に関するバリア

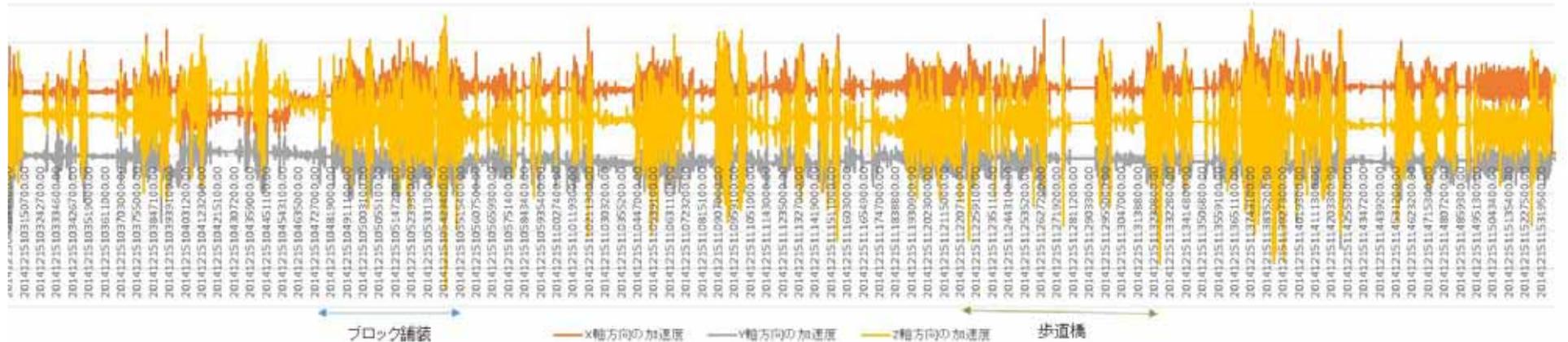
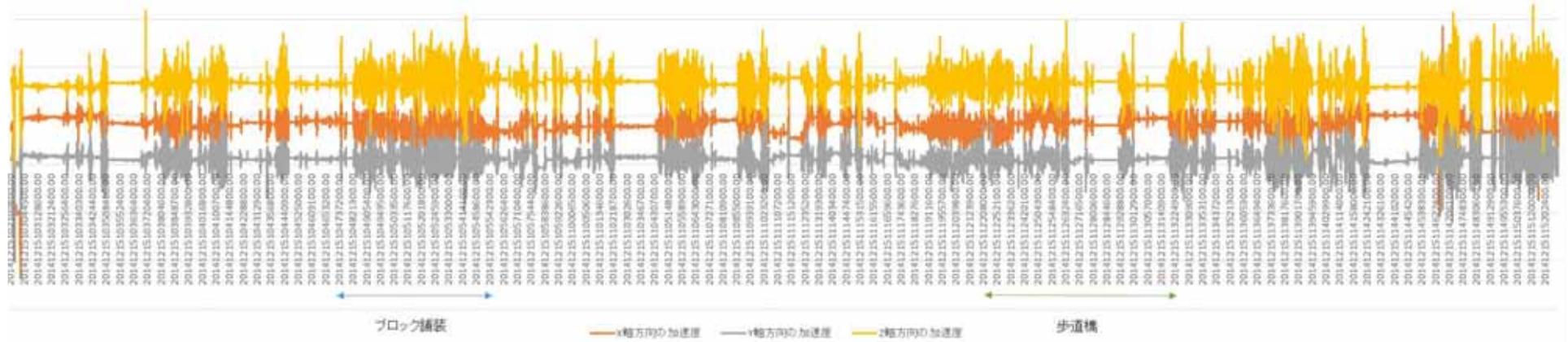
- ・子ども連れ(ベビーカー利用)外出者の移動制約者としての法的位置づけ
- ・少子高齢社会に適した子育て関連政策・制度設計(家族政策, 労働政策, 税制および社会保険制度等の改善など)
- ・子育てや子ども連れ外出に対する意識・理解の向上のための教育・啓蒙(心のバリアフリー推進, 子育てバリアフリー教室, 外出時のルール作りやマナー向上のための啓蒙など)
- ・子育てや子ども連れ外出に対する意識・理解の向上のための教育・啓蒙に対する補助金



Karlstad, Sweden



シート部分の加速度





Taipei, Taiwan



独立行政法人福祉医療機構 平成22年度社会福祉振興助成事業

NPOとタクシーの連携事例が分かる!

子育て家庭の移動を考えるフォーラム タクシー事業者がいかに子育てに貢献できるか

子育て家庭の移動のニーズが見える!!

- | | | |
|-----|---------------------------|---|
| 第1回 | 平成22年11月6日(土) 13:30~16:30 | 会場:主婦会館プラザエフ7F「カトレア」 (東京都千代田区六番町15番地) |
| 第2回 | 平成23年1月22日(土) 13:00~16:00 | 会場:京都テルサ 東館2階 セミナー室 (京都市南区東九条下殿田町70番地) |

終了しました。

終了しました。

7/3開催！勉強会
in東京都杉並区
宮前児童館



おやこじてんしゃプロジェクト

親子が安全に楽しく、快適に自転車を利用できる社会づくりを目指します。

HOME

ABOUT

杉並おやこじてんしゃプロジェクト

ファシリテーター紹介

特集

協賛



勉強会・イベント開催情報

2015年10月17日

勉強会in東京都杉並区方南図書館

2015年09月11日

勉強会in東京都杉並区荻窪北児童館

2015年07月03日

勉強会in東京都杉並区宮前児童館

MORE



ママ発！こども乗せ自転車の事故ゼロへ。

杉並おやこじてんしゃプロジェクト



親になったらもう一度自転車を学ぼう！



区内で勉強会開催！

杉並区×パワーウーマンプラス

このプロジェクトは、杉並区と株式会社パワーウーマンプラスとの協働提案事業です。親子が安全に楽しく、快適に自転車を利用できる社会づくりを目指します。

お知らせ

2015.06.17 6/13勉強会in杉並の開催レポートをアップしました。

2015.06.10 6/2勉強会in杉並の開催レポートをアップしました。

2015.06.02 ホームページを開設いたしました。

MORE

リアル！先輩ママ、パパの

おやこ自転車 **ヒヤリ体験集**



私の運転、OK？NG？

杉並おやこじてんしゃプロジェクト



私の運転OK？NG？

❶ 子どもがヘルメットを落とすからヘルメットかぶせなくて走行してしまった！

❷ 幼稚園の送迎に遅れそうだったから、歩道を急いで歩行しちゃった、これってダメだったのかな？

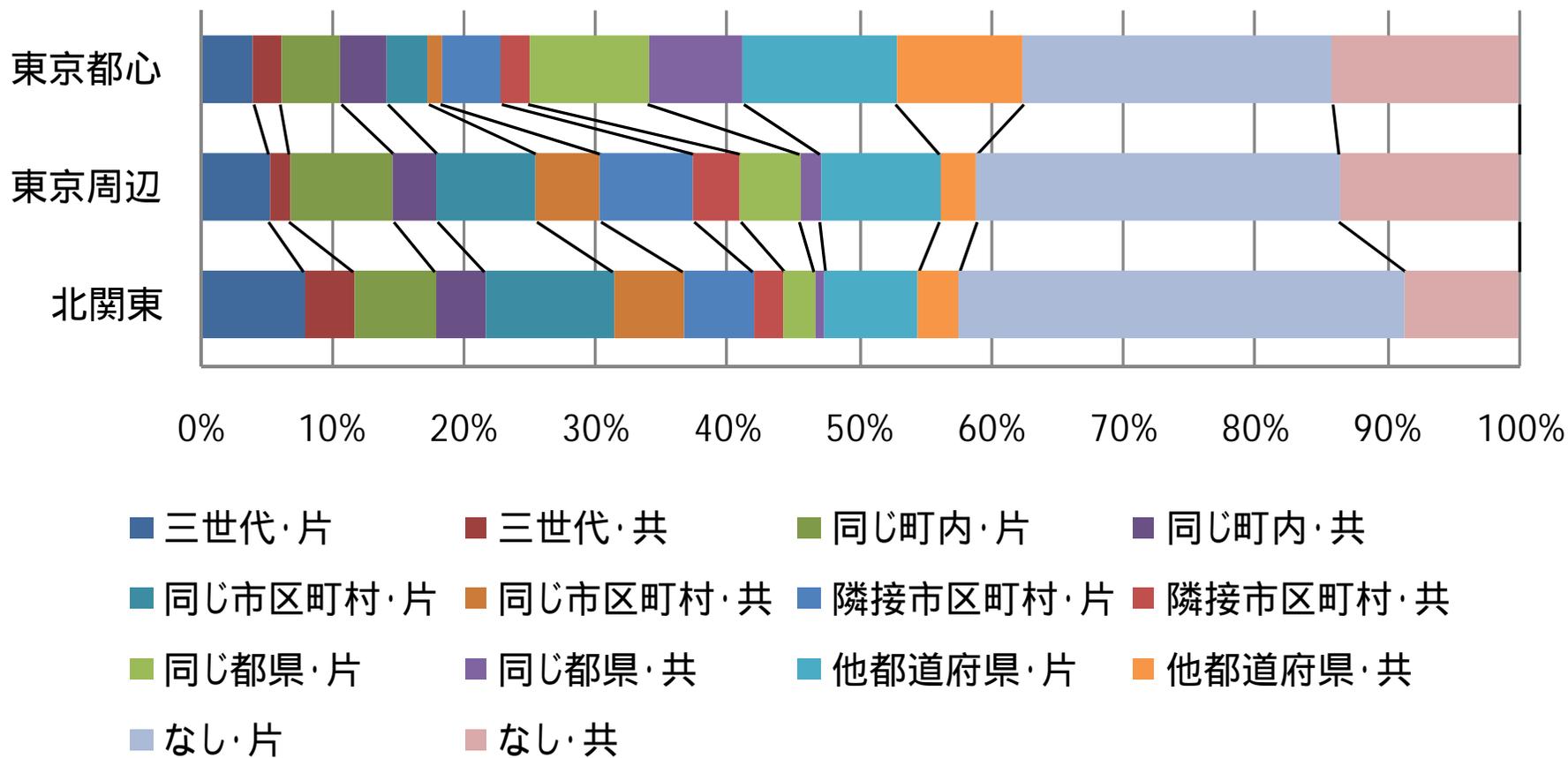
<http://bike.powerwomenplus.jp/>



子育て中の母親の 外出行動に関する調査in東京

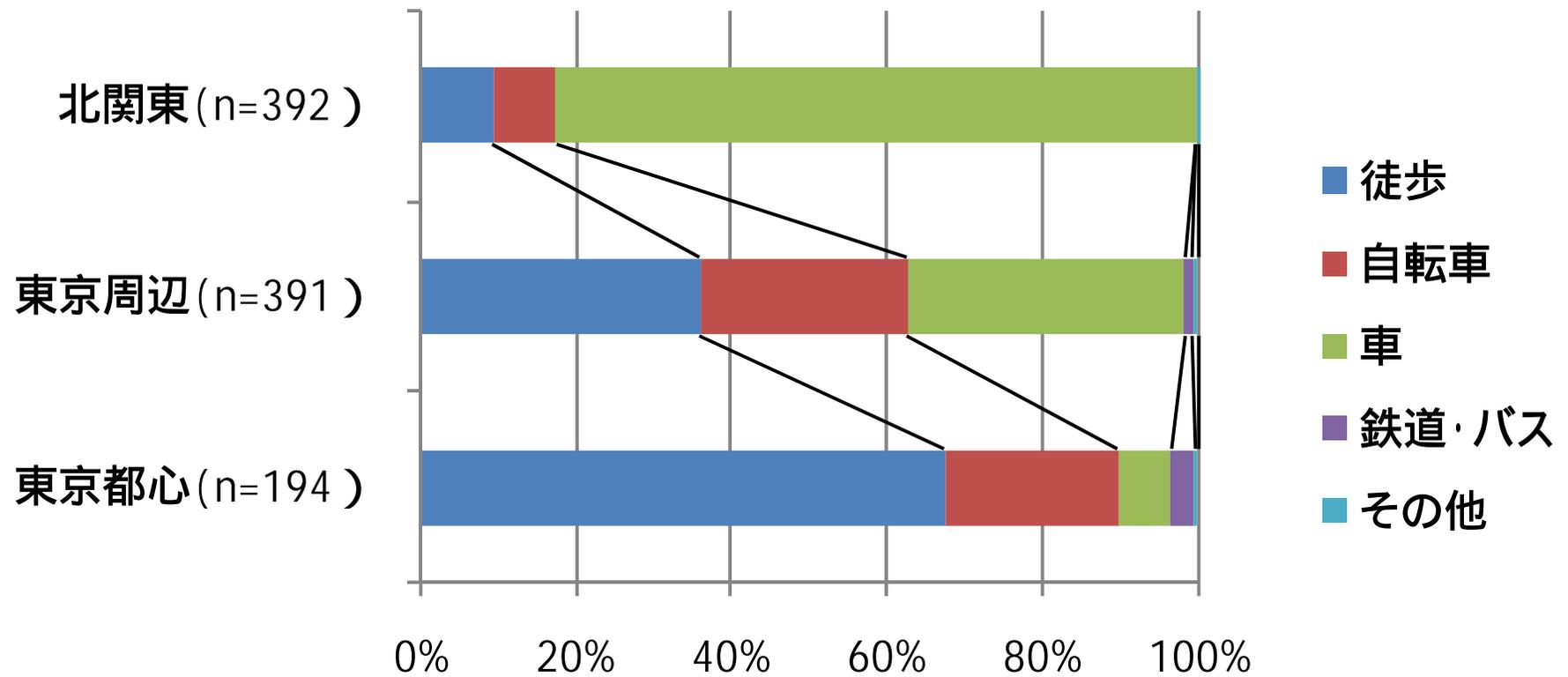
- 調査実施期間
 - 2009年4月28日(火)～5月10日(日)
- 調査対象者
 - 楽天リサーチ株式会社のモニターで、首都圏在住、小学校入学前の乳幼児・児童を持つ女性、計1,000人
- 調査方法
 - インターネット調査

出典：大森宣暁，谷口綾子，真鍋陸太郎，寺内義典，青野貞康（2011）子育て中の女性の外出行動とバリアに対する意識に関する研究-首都圏在住の乳幼児を持つ母親を対象として-，都市計画論文集，Vol.46，No.3，pp.259-264.

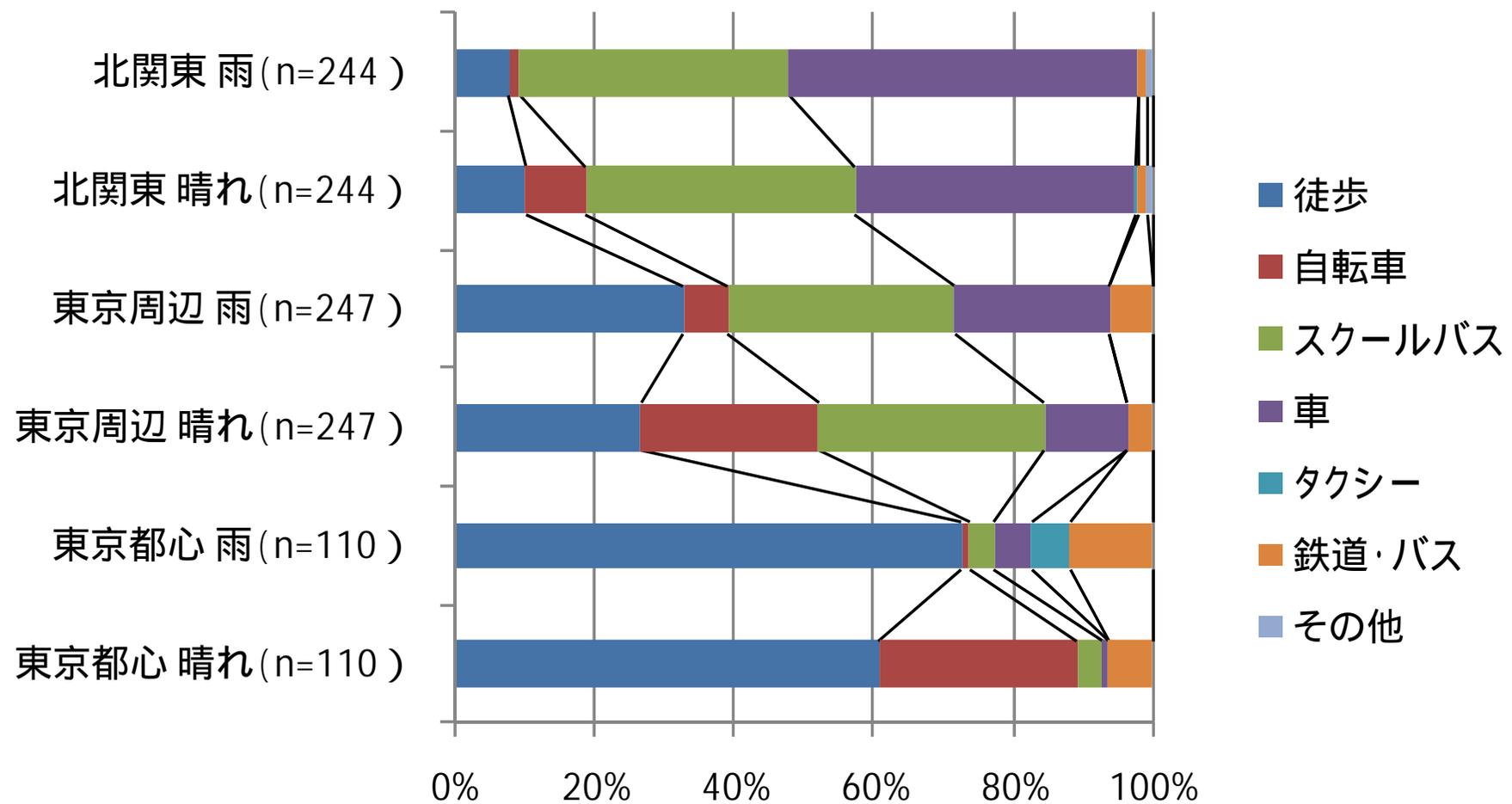


「共」：共働き，「片」：母親が無職または専業主婦，「なし」：子育てを手伝ってくれる人はいない。

サンプルの世帯構成

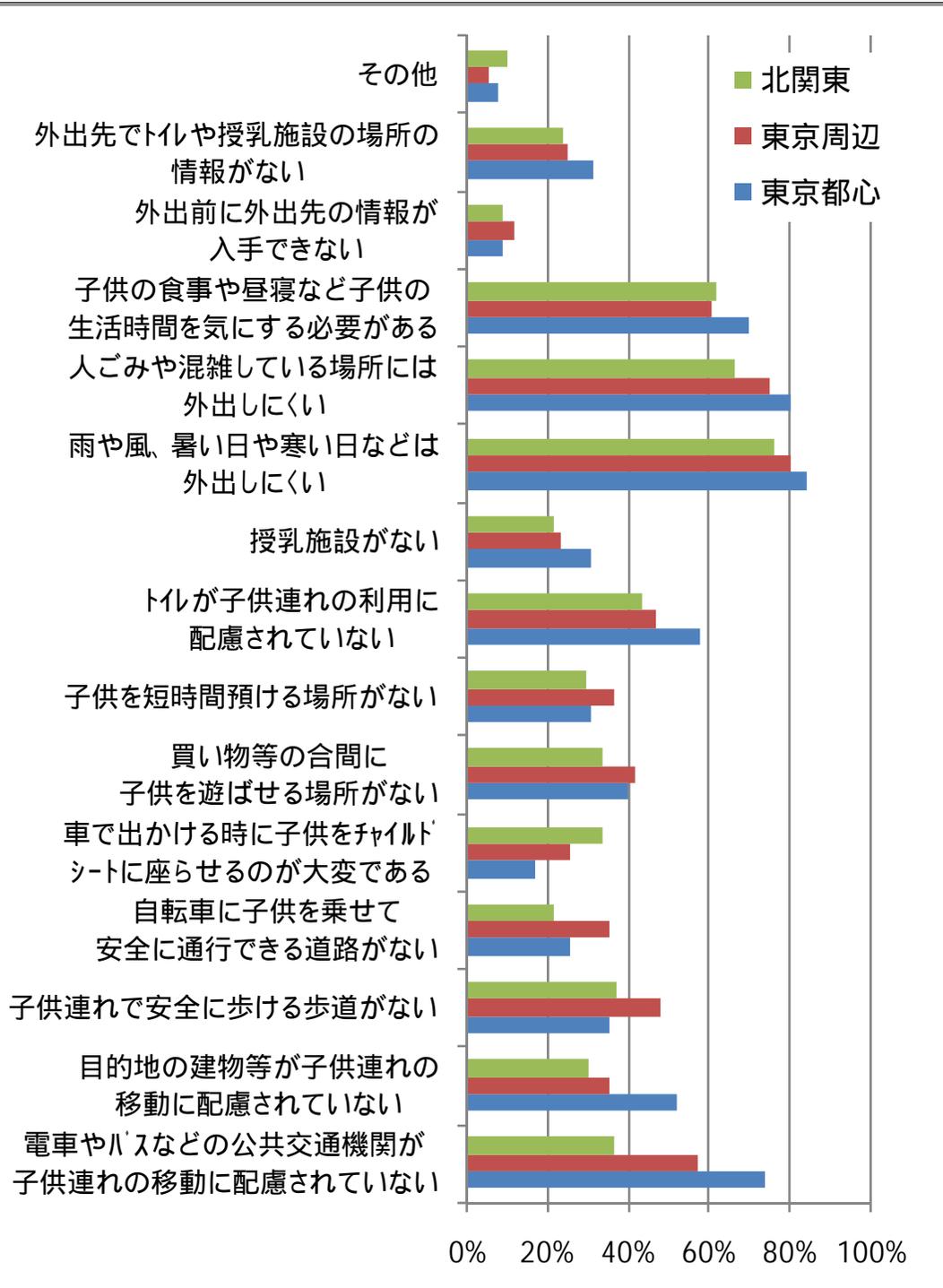


「日用品の買い物」の主な交通手段



「幼稚園・保育所への送迎」の主な交通手段 (晴天時と雨天時)

子連れで外出する時に困っていること



| | 子供の数 | 末子<3歳 | 子育て年数 | 40歳以上 | 正社員 | パート・アルバイト | 車保有世帯 | 核家族・助け無 |
|--------------------------|------|-------|-------|-------|-----|-----------|-------|---------|
| 公共交通が子供連れ移動に配慮ない | + | ++ | - | --- | | | -- | |
| 建物等が子供連れ移動に配慮ない | | +++ | | -- | | | | |
| 子供連れで安全に歩ける歩道ない | + | | | --- | | | | |
| 自転車に子供を乗せて安全に通行できる道路がない | ++ | -- | | | | | - | |
| 子供を車のチャイルドシートに座らせるのが大変 | | +++ | | | | | +++ | |
| 買い物等の合間に子供を遊ばせる場所がない | | | | | | | | |
| 子供を短時間預ける場所がない | | | | | | | | +++ |
| トイレが子供連れ利用に配慮ない | | | -- | | | | | |
| 授乳施設がない | +++ | +++ | --- | -- | --- | | | |
| 雨風、暑い・寒い日は外出しにくい | ++ | +++ | -- | | | -- | | |
| 人ごみには外出しにくい | | +++ | | | | | - | |
| 子供の食事・昼寝など生活時間を気にする必要がある | | +++ | --- | | | | | |
| 外出前に外出先情報入手できない | | +++ | | | | | | ++ |
| 外出先でトイレや授乳施設の場所の情報がない | | | --- | --- | | | | |

子育て外出国際比較調査

- 調査実施期間

- 2012年12月～2013年1月

- 調査対象者

- 6ヶ国の首都6都市圏(日本(東京都市圏)、韓国(Seoul、Incheon)、英国(Greater London)、フランス(Île-de-France)、ドイツ(Berlin、Brandenburg)、スウェーデン(Stockholms län))居住者で、20代、30代、40代の男女、各50サンプル、各国計300サンプル

- 調査方法

- インターネット調査(楽天リサーチ株式会社)

出典:大森宣暁(2013)子育て世帯の多様なライフスタイルを実現する都市と交通のあり方,都市計画,Vol.62, No.5, pp.28-32.、小林杏奈,大森宣暁,高見淳史,原田昇(2013)公共交通車内における迷惑行為と移動の幸福感の国際比較,第33回交通工学研究発表会論文報告集, pp.451-458, CD-ROM.



Stockholm, Sweden

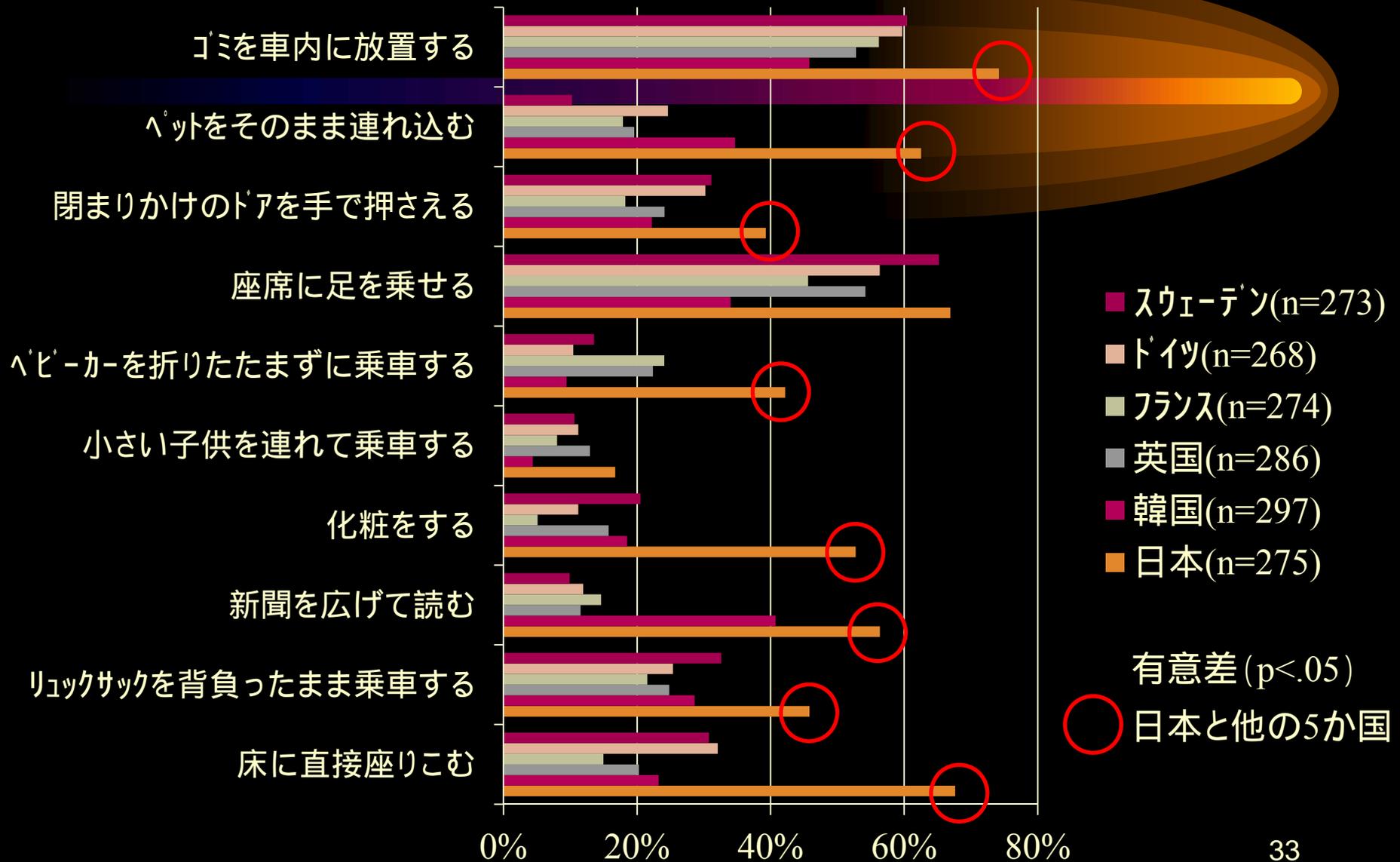


Paris, France



London, UK

公共交通利用時に周囲の乗客がしていたら 不快・迷惑に感じる行為(混雑時)



公共交通利用時に周囲の乗客がしていたら 不快・迷惑に感じる行為(混雑時)

乗り降りする人がいるのにドア付近で動かない

お年寄りや体の不自由な人に席を譲らない

一人分以上の座席を占有する

大声で会話をする

大音量でヘッドホンステレオを聴く

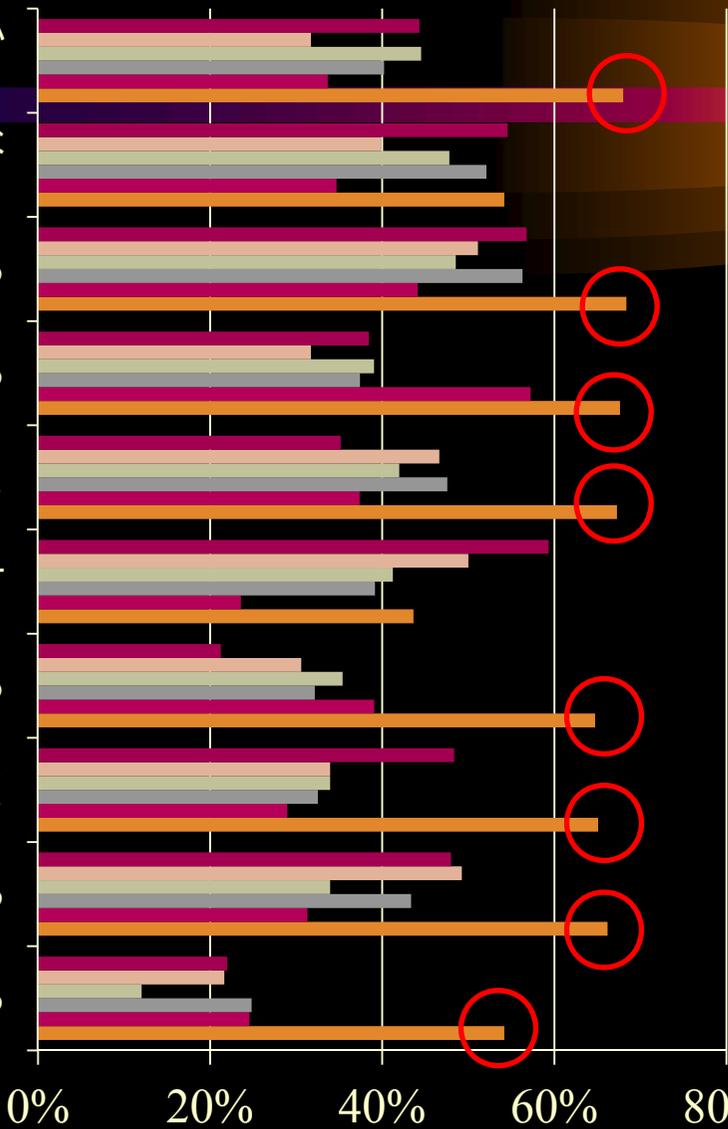
携帯電話、スマートフォンの着信音を鳴らす

携帯電話、スマートフォンで通話する

ドア付近や通路の真ん中に荷物を置く

飲酒をする

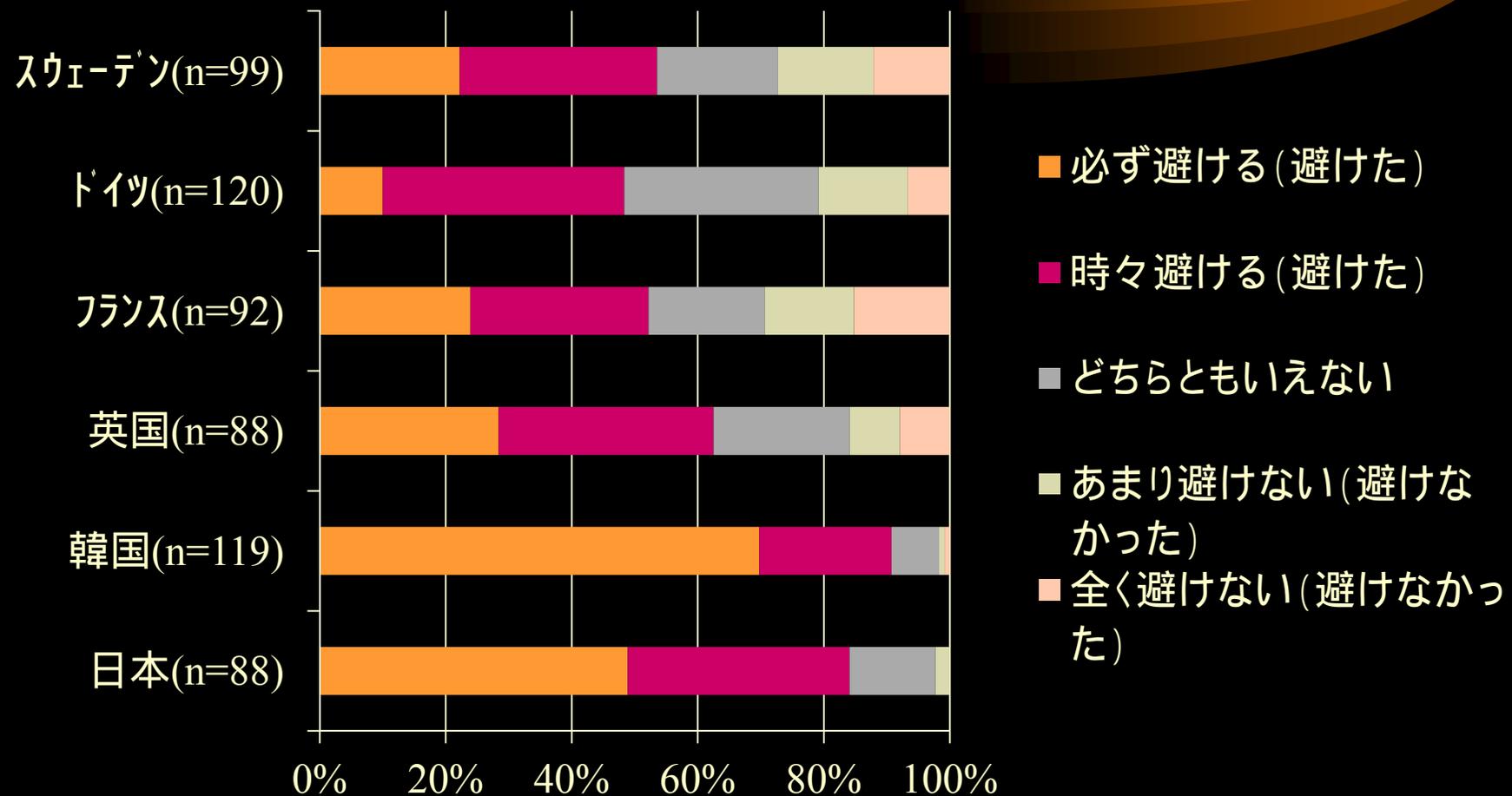
飲食をする



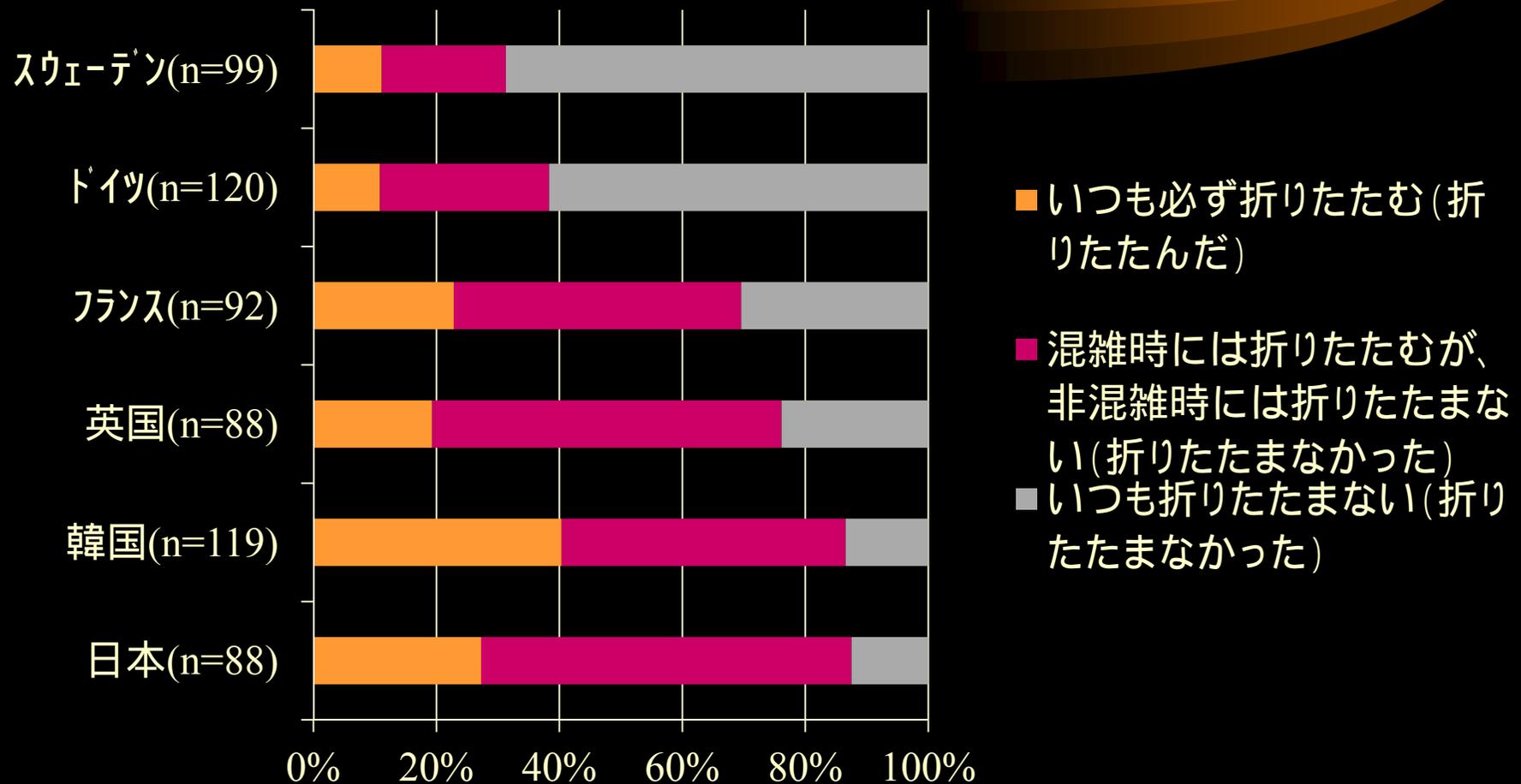
- スウェーデン(n=273)
- ドイツ(n=268)
- フランス(n=274)
- 英国(n=286)
- 韓国(n=297)
- 日本(n=275)

有意差 (p<.05)
○ 日本と他の5か国

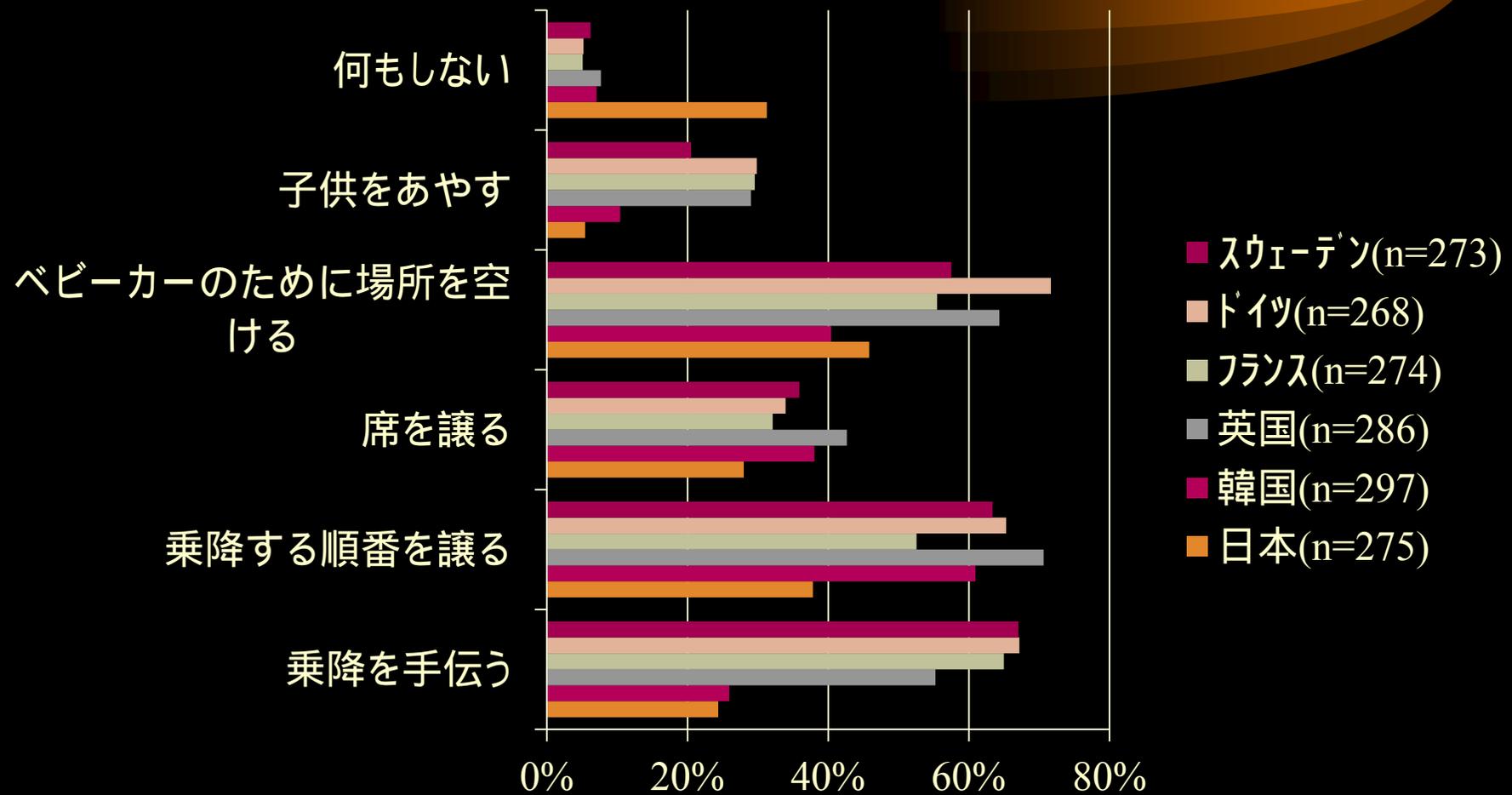
ハイカーで公共交通利用時に混雑時間帯を避けるか？



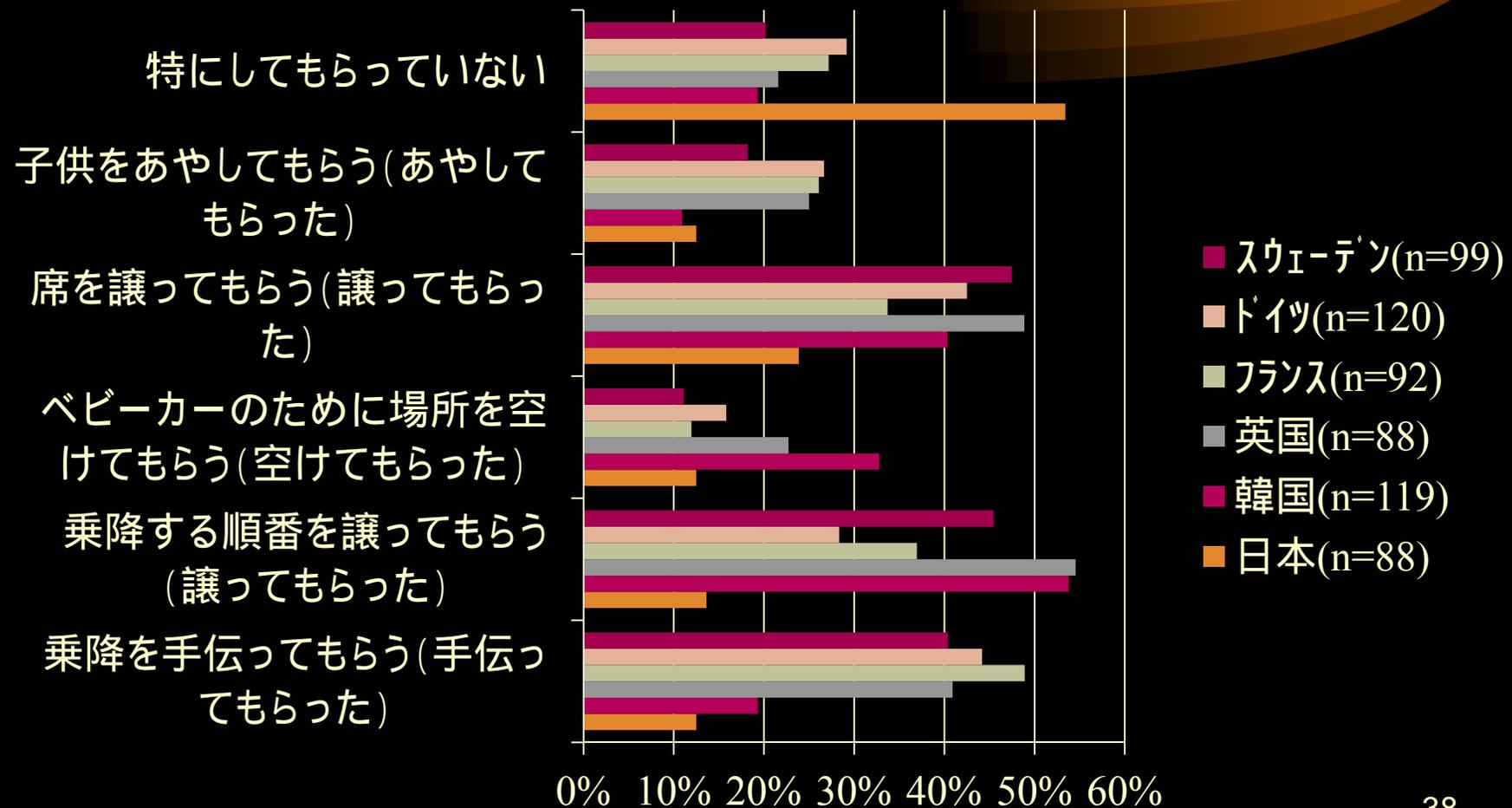
公共交通車内で イビカーを折りたたむか？



公共交通利用時に ベビーカー利用者に対して行うこと



ベビーカーで公共交通利用時に 周囲の乗客にしてもらう行為



子育て外出国際比較調査のまとめ

- 我が国(東京)の公共交通ベビーカー利用に対する意識の特徴
 - 混雑時、公共交通に「ベビーカーを折りたたまずに乗車する」ことを不快・迷惑と感じる人の割合が高い。
 - ベビーカーで公共交通利用時に、混雑時間帯を避ける割合が高く、公共交通車内でベビーカーを折りたたむ割合も比較的高い。
 - ベビーカーで公共交通利用時に、周囲の乗客による助けが少ない。

心のバリアフリー

- 歩道上や点字ブロック上の駐輪、多機能トイレやエレベーターの優先順位、車いすで利用できない飲食店、ベビーカーでの公共交通利用・・・
- 多種多様なバリアフリーデザインの意味を、移動制約者を含めて全ての人々が理解することが重要
→ 情報提供、教育、啓発
- 移動制約者が普通に街の中にたくさんいるような状況を体験することが重要 → 移動制約者が積極的にまちに出る → (我が国では)まずはハードの整備により物理的に外出しやすい環境が必要??

小学生向けバリアフリー教材

出典：進研ゼミ小学講座 かがく組3・4年生

助け合って、みんなが暮らしやすく!

ワタシたちには
どんなことが
できるかな?

電車やバスの中で
優先席を空けて
おくことくらいしか
思いつかないな。

それも大事なことだよ。
でも優先席じゃ
なかったら、
席をゆずらないの?

そうか!
優先席じゃなくても
席をゆずることは
できるな!

いろいろな工夫があっても
それが使えなくて困っている
人もいるよ!
そんな人を免けたとき
おうちの人と声をかけてみる
ことも、きみたちにできる
ことの一つだよ!

エレベーターを
使いたいけど
どこかな?

教えて
あげよう!

座りたいけど
どこか空いている
席はないかな?

席を
かわろう!

車いすのまま
ドアを引いて乗るのは
むずかしいな。

かわりに
ドアを
あげよう!

歩道ブロックの上で
立ち止まっておしゃべりして
いる人がいるようだな。
困ったな。

立ち
止まらない
ように
しよう!

子どもたちが
ぶつかってきたら、車道に
よろけてしまいそうで
こわいな。

横に
広がって
ぶざけない!

どんなことで困って
いるかがわかったら、
協力しやすいね。

いろんな人が
気持ちよく暮らせるように
オレたち自身の行動を
見直すことも大切だな。

次は、みらい駅~!

あ、おばあちゃんち
の駅に着く!

さあ、早くわよ!
みんなしっかり
歩いてよ!

荷物がいっぱい
大変そうだな~。

あの一、忘れまで
その荷物を持ちま
しょうか?

まあ、ありがとう!
じゃあ、これ。

どうもありがとう。
助かったわ!

お兄ちゃん
ありがとう! 優しい
お兄ちゃんだね!

ダイキ、バッチリ
できたじゃん!

その調子だよ。

ミサキ~!

おばあちゃん、
駅までおつかえに
来てくれたんだ!

ここまで歩いてきたら
つかれたでしょう?
少しベンチで休んでから
行こうか。

気がきく
ようになった
ね~! ありがとう!

ミサキのおばあちゃん、
また音の遊びを
教えてください!

ワタシも!
ワタシも!

ああ、任せようだね!

まとめ クイズ

エレベーターの中の額は
何のために付いていたかな?

- 1 髪形を整えるため
- 2 エレベーターの中を
広く見せるため
- 3 車いすの人が後ろ向き
でおりるとき、後ろを
確認するため



これからもだれもが気持ちよく
暮らしていくために、自分には何が
できるか考えていこう!

いろいろな
人の立場に
立って考えて
みなくちゃね!

自然
社会
科学技術
文化
総合



交通バリアフリー教室(本郷)

文京区子育てしやすいまちづくり

東大のキャンパスを地域の「子育て」支援の場とする

大野(夏)・久保倉・田中西岡・野口・村井・和氣

文京区の子育て環境

年少人口(1~5歳): 7833人(10.5%)

年齢構成は23区の中で中程度だが、出生年齢女性人口は将来減少が見込まれる。

保育園: 26か所(区立20、私立6)

幼稚園: 28か所(区立10、私立・国立18)

地形: 武蔵野台地の東縁部。こう配の急な坂と崖と、江戸川(神田川)や千川・藍染川(ともに現在暗渠)などにつくられた低地の部分、関口台、小日向台、小石川台、白山台、本郷台の5つの台地に分かれ、台地と坂、台地にかこまれた幾つかの谷から成り立つ。

文京区政策方針: 自立を尊び、安心を届ける→子育て環境を充実させ、『文の京』をふるさとにする住民を増やす



子育て関連事項調査

行政資料、報告書、論文、新聞記事等

子育て中の方々&お子さんと一緒にまち歩き

NPO法人ファザーリング・ジャパン安藤さん、

文京区子育て支援課長久住さん

文京区長成澤さんインタビュー



行政が対応しきれていない課題・共通の問題
安心して遊ばせる場所がない

文京区内での場の提供

文京区に安心して子供が遊べる場所を提供する!

文京区に新たな公園を整備することは現実的ではない。

→今ある比較的広い空間を活用する。

候補地: 東大・小石川植物園・六義園・後樂園・護国寺



他との比較

- よく使うバス会社のベビーカー乗車のルールを事前に調べておきましょう
- 案内では決められた場所に置きスローパーをかけておきましょう
- ベビーカーにお赤ちゃんが乗っているときは扉を開けずベビーカーを変えてみましょう
- 急停車に備えて座っているときもだっこひもを穿るようにしましょう
- ベビーカー使用でも、だっこひもやおんぶひもを持ち歩きましょう

子ども連れのバス利用について

①ベビーカーに子どもを乗せたまま乗車できるバスは増えていますが、よく利用するバス会社について事前に確認しておきましょう。
 ②バスの乗降時の乗降車に備えて、赤ちゃんを抱いて乗降するまでをしっかりと確認して確認するようにしましょう。子どもが降りない場合は、必ず大人が手をつかないで、まずおつかひをゆるぎないようにしましょう。
 ③急停車に備えて座っているときも、バスの中は扉が閉鎖、乗降時には扉に手をかけるようにおこなわれます。乗降時の乗降に備えておきましょう。



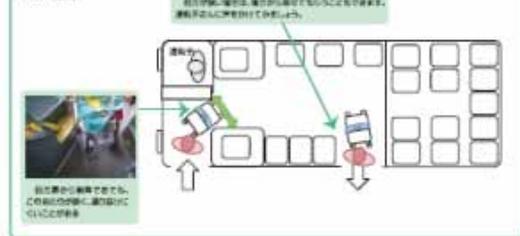
乗降の方へ
乗降中はしっかりと抱きかかると、どうかがしがたくなってしまいます。

料金の支払いや整理券の授受について

一般の乗客とは異なる乗降口を利用する場合は、料金の支払いや整理券の授受が異なります。子どもが乗っているベビーカーから降りるときは必ず乗降口の扉が閉まるまでベビーカーを固定して確認し、乗降口を閉めましょう。



バスの乗降



ベビーカーでのバス利用について

子どもをベビーカーに乗せたままのバス利用はルールを守らなければなりません。ベビーカーをたたきにくい車種が増えてきました。赤ちゃんの安全のために正しい乗りの方を教えてください。

①バス案内が利用しやすいとき

ベビーカーはたたきにくい車種が増えてきました。ベビーカーのベルトを締めてスローパー(ブレーキ)をおきましょう。その際、ベビーカーは進行方向に向かって前方向きに固定します。

②バス案内が通っているとき

ベビーカーの使用が許可されているバスでも、ベビーカーをたたきにくい車種が増えてきました。ベビーカーのベルトを締めてスローパー(ブレーキ)をおきましょう。その際、ベビーカーは進行方向に向かって前方向きに固定します。

③急停車に備えて座っているとき

急停車に備えて座っているときも、だっこひもやおんぶひもを穿ないようにしましょう。

④乗降時の乗降に備えておきましょう

乗降時には扉に手をかけるようにおこなわれます。乗降時の乗降に備えておきましょう。

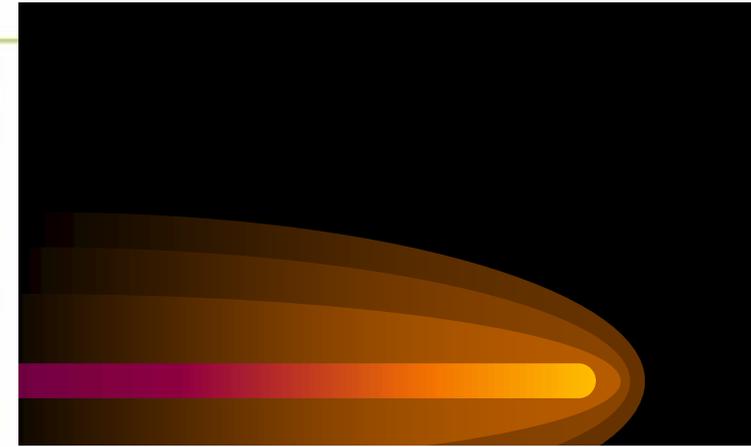
その他の場に適した方法を

バス以外にも利用可能な場合があります。ベビーカーでも利用可能な場合は、事前に各自治体のホームページやベビーカーの取扱説明書を確認してください。また、いつかたまたま利用しているバスでも、たまたま変更がある場合があります。たまたま変更がある場合は、事前に確認してください。



ベビーカーの車内固定員について

ベビーカーでの乗車が可能な場合は、ベビーカーを固定できるように乗客にベルトがつけられています。乗客にベルトがつけられている場合は、ベルトを締めて固定してください。また、ベルトがつけられている場合は、ベビーカーのベルトとスローパー(ブレーキ)を締めておきましょう。



スタートペルトを！

シートについて

シートは必ず平らにして、後ろ向きに固定しましょう。また、シートマークがついたものを優先して利用しましょう。シートマークがなくても、後ろ向きに固定してください。また、シートマークがなくても、後ろ向きに固定してください。

幼児児童用自転車について

幼児児童用の自転車は、幼児児童が乗るための自転車です。幼児児童が乗るための自転車は、幼児児童が乗るための自転車です。幼児児童が乗るための自転車は、幼児児童が乗るための自転車です。



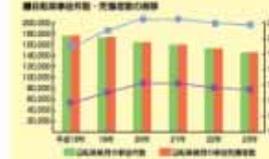
自転車安全利用のためのルール

自転車は安全に利用するために、以下のルールを守ってください。自転車は安全に利用するために、以下のルールを守ってください。自転車は安全に利用するために、以下のルールを守ってください。



自転車の乗車

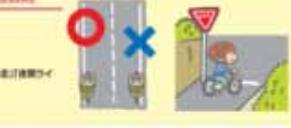
2011年の自転車乗車中の交通事故数は約14万件、交通事故全体の半分以上を占めています。自転車乗車中の交通事故数は約14万件、交通事故全体の半分以上を占めています。



子どもを乗せては危険なため、運行中は禁止されています。子どもを乗せては危険なため、運行中は禁止されています。子どもを乗せては危険なため、運行中は禁止されています。

知っていますか？ 自転車安全利用五則

- ①自転車は車道が原則、歩道は例外
- ②歩道は左側を通行
- ③歩道は歩行者優先で、早退呼びかける
- ④安全ヘルムを着用(2人乗り、幼児乗車、急坂・急降下・道のりなど)
- ⑤子どもはヘルムを着用



駐輪について

駐輪場は指定された場所に駐輪してください。駐輪場は指定された場所に駐輪してください。駐輪場は指定された場所に駐輪してください。



乗降の方へ
子どもがいて乗降に備えておきましょう。



子ども連れ外出テキスト(「子育て・子育てバリアフリー教室」テキスト作成プロジェクト, 2013)



子ども連れ外出バリア
フリー教室 (H22.2.20)



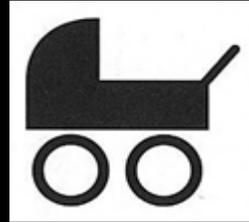
子ども連れ外出バリア
フリー教室 (H23.2.19)



荒川区バリアフリー-基本
構想での乗降体験教室
(H25.10.23)



子ども連れ外出教室
シンポジウム (H26.3.16)



「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」(H25.6～H26.3)での議論

- 背景

- ベビーカーを一層利用しやすくするための環境整備の必要性
- ベビーカー利用者のマナー向上と他の利用者の理解や協力が不可欠

- 協議内容

- ベビーカー利用に係るルールの策定
- ベビーカー利用に配慮する統一的なマークの作成

公共交通ベビーカー利用に関する意見

- ベビーカー利用者
 - 子どもと子ども用の荷物とベビーカーで20kg、ベビーカーを折りたたむのは大変
 - 気を遣っているけど周りが冷たい
- 周囲の乗客
 - ベビーカーは大きくて邪魔、通路をふさいで危険
 - 昔は大変だったのに最近の若い母親は…
- 交通事業者
 - ベビーカー利用時の事故やトラブルも多い

公共交通ハビーカー利用環境改善のために

- 「安全性」と「理解・配慮」
- 短期的な対応
 - ハビーカーの安全な利用方法を周知
 - 人々の理解・意識向上(ポスター、イベント、メディアなど)
- 中長期的な対応
 - より安全なハビーカー開発、鉄道・バス車両へのスペース設置、交通需要の分散化、土地利用と交通の一体的計画など
- 2020年東京オリンピックでの「おもてなし」の一つ

http://www.mlit.go.jp/sogo: **バリアフリー：公共交**

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

国土交通省 本文へ

ホーム 国土交通省について 報道・広報 政

**バリアフリー・ユニバーサルデザイン
交通消費者行政／公共交通事故被害者支援**

ホーム > 政策・仕事 > 総合政策 > **バリアフリー** > 公共交通機関等におけるベビーカー

公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会

公共交通機関や公共施設等のバリアフリー化の進展に伴い、ベビーカーのため、ベビーカーを一層利用しやすくするための環境整備が求められてい。施設の整備に加えて、ベビーカー利用者のマナー向上とともに、。このため、今後、ベビーカーの利用しやすい環境づくりに向けて、関係通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」を設置することとし

開催状況

[第1回\(平成25年6月25日開催\)](#)

[第2回\(平成25年10月1日開催\)](#)

[第3回\(平成25年12月18日開催\)](#)





山手線新型車両:2014年7月2日報道資料
<https://www.jreast.co.jp/press/2014/20140701.pdf>

まとめ

- 子育て世帯は日常生活における時間制約が最も強いライフサイクルステージ
- 子育て世帯の日常生活における多様なバリアを緩和するために、多様な主体が適切な役割分担と連携のもとで施策を進めることが重要
- バリアフリーに対する人々の意識・理解の向上、いわゆる「心のバリアフリー」の促進が、バリアフリー施設整備の効果を最大限に発揮するためにも必要
- 地域特性を反映し、我が国の国民性にも配慮したインクルーシブなまちづくりを